

## 1. 活動の概要

5月24日(木)、出雲市立西野小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。6年生3クラスを順番に実施しました。まず、DVDで大仏の造り方や奈良時代に大仏を造った人々の思いを学びました。12年という長い年月に驚いていました。そして、奈良の大仏パネルを組み立てました。3クラスそれぞれの個性が表れており、パネルの組み立てる順番が違うなどありましたが、各クラスが一糸懸命組み立てていました。完成後、大仏の疑問を聞き、形の意味も学ぶことができましたが、時間が少なく質問が余り受けられなかったのが残念です。

## 2. 活動の様子

### 1)奈良の大仏について学ぼう

「大仏つくりって大変だ〜」



### 2)奈良の大仏を造ろう



「きっちりそろえないと」

「思っていたよりおおきい〜」



## 3. 子ども塾を終えて

### 1)児童の皆さんから…

- 大仏が大きくてびっくりした。
- 他にどんな仏がいるのか知りたくなった。
- 大仏を木で作ってみたい。
- 今度はまが玉を作りたい。
- 実際の大仏を見てみたい。
- 大仏ができた後に質問できて良かった。

### 2)担任の先生から…

- 大仏の造り方が良くわかった。
- 大仏完成後の質問タイムがもう少しあれば良かった。

### 3)埋文センターから

3クラス実施ということで、時間管理が重要であったが、全クラスで時間が無く、余り質問時間を設けられなかったことが反省点です。大仏パネルづくりは児童たちがてきぱきと組み立て、いちど並べた後に、丁寧に揃える児童も多く、普段から几帳面なクラスだと見てよくわかりました。

もう少し授業時間を確保できれば、更に奈良の大仏や奈良時代の学習が深まったと考えられます。大規模校で実施する時の課題だと思います。